

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス

平成 28 (2016) 年 1 月 28 日

第 7 号

発行 ㈱ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供しています。

中央教育審議会

初等中等教育分科会 教育課程部会
小学校部会

小学校の教育課程の改善・授業 時数についての検討始まる

●「社会に開かれた教育課程」など今次改訂の 理念実現に向けて

中教審・初等中等教育分科会教育課程部会の下に昨秋設置された「小学校部会」の初会合が、1月20日、文部科学省において開催された。委員は、小学校長、指導主事、大学教授ら16名。教育課程部会長（無藤隆・白梅学園大学教授）の指名により、主査に天笠茂・千葉大学教授、主査代理に中島幸男・福岡県芦屋町教育委員会教育長が選任された。

小学校部会における主な検討事項は次のとおり。
①「社会に開かれた教育課程」の視点に立った、小学校の教育課程の改善について、②小学校教育を通じて育成すべき資質・能力の在り方について、③小学校における「カリキュラム・マネジメント」の在り方について、④「アクティブ・ラーニング」の三つの視点を踏まえた、資質・能力の育成に向けた小学校の指導等の改善充実の在り方について、⑤学習評価の在り方について、⑥その他。

初会合では、まず事務局より、先行して進行中の

教科別ワーキンググループの審議状況について報告があったのち、主として①②についての意見交換が行われた。

委員からは、「低学年でかなりの学力差が生じており、幼小接続・低学年教育の充実が必要。現行で『スタートカリキュラム』は指導要領にはなく、解説にのみ示されているので、この点について整理すべき」「通常学級にいる特別支援を要する子どもにも配慮した指導の工夫ができる幅が欲しい」「過度の習熟を求めないための歯止めが要る。指導内容は時代に合わせて軽重をつけるべき」「教科担任制は、専門性を生かした指導、教師の多忙感の軽減、多くの目で子どもを見ることができるといって有効」「外国語の高学年教科化によって、中学校からの前倒しで英語の好き嫌いを生むようでは意味がない」「従来の外国語活動をベースとしながら書きの指導を入れるなど高学年は意図的な学びの段階とし、中学外国語につなげる必要がある」などの意見が出た。

●今春、一定の結論へ

小学校教育の方向性及び小学校の授業時数については、3月までに本部会として一定の整理を行った後、教科別ワーキンググループへつなぎ、最終的には教育課程部会下の教育課程企画特別部会に委ねられる予定。なお、小学校部会に続き、中学校部会も近々初会合が開かれる見込みだ。

数字あっとランダム

親世代（30年前）と比較して、身長・体重など子どもの体格は向上しているが、運動能力をみると反復横跳びは上昇しているものの、全体として低い水準にある。

親世代と子世代の体格・運動能力比較 体 格

●身長

	S58(1983)	H25(2013)
男子(11歳)	143.1cm	145.0cm
女子(11歳)	145.2cm	146.8cm

●体重

	S58(1983)	H25(2013)
男子(11歳)	36.5kg	38.3kg
女子(11歳)	37.7kg	39.0kg

運動能力(テスト結果)

●50m走

	S58(1983)	H25(2013)
男子(11歳)	8.70秒	8.90秒
女子(11歳)	8.98秒	9.12秒

●ソフトボール投げ

	S58(1983)	H25(2013)
男子(11歳)	34.47m	28.41m
女子(11歳)	20.47m	16.85m

●反復横跳び

	S58(1983)	H25(2013)
男子(11歳)	42.65回	45.79回
女子(11歳)	40.50回	43.02回

(文部科学省「平成25年度体力・運動能力調査」)



ぎょうせい
Book Corner

好評発売中!

子どもと教室の事実から学ぶ 「学びの共同体」の学校改革と省察

佐藤雅彰、齊藤英介 [著]

B6判・定価(本体2,100円+税)

誰ひとり孤立することのない学校・教室とは？
すべての子どもの学びを保障するための手立てを
具体的エピソードとともに説く。

- 年間のべ150校もの学校を訪問するなかで出会った子どもと教師たち。その姿を具体的に物語ることを通して、学校改革と授業改革の要諦を示します。
- 学びの質を高めるための授業づくり、教師のあり方、児童生徒との関わり、授業研究の方法、自らの実践や子ども観を絶え間なく振り返る——省察の大切さなど、「教育の真髄」を凝縮した一冊です。



今日の話・題

- 1月 ◆28日 スペースシャトルチャレンジャー号爆発事故(1986) ◆29日 人口調査記念日 ◆30日 西南戦争勃発(1877) ◆31日 愛妻の日/生命保険の日
2月 ◆1日 テレビ放送記念日 ◆2日 情報セキュリティの日 ◆3日 節分/大豆の日 ◆4日 立春(2016) ◆5日 プロ野球の日/笑顔の日(ニコニコの語呂合わせ) ◆6日 海苔の日 ◆7日 北方領土の日/福井県ふるさとの日/長野の日(オリンピックメモリアルデー) ◆8日 針供養/郵便マークの日 ◆9日 フグの日/服の日 ◆10日 簿記の日/ニットの日 ◆11日 建国記念の日 ◆12日 菜の花忌(司馬遼太郎の忌日)/ペニシリンの日 ◆13日 苗字制定記念日 ◆14日 煮干しの日/バレンタインデー

●●○ 1/28 ~ 2/14 生まれの著名人 [敬称略] ○●● 1月 市村正親(28日)、三浦友和(28日)、アントン・チェーホフ(29日)、毛利衛(29日)、長谷川町子(30日)、稲盛和夫(30日)、大江健三郎(31日)、香取慎吾(31日)

2月 クラーク・ゲーブル(1日)、綿矢りさ(1日)、劇団ひとり(2日)、浅尾美和(2日)、檀一雄(3日)、土屋太鳳(3日)、山下達郎(4日)、東野圭吾(4日)、西郷輝彦(5日)、大地真央(5日)、やなせたかし(6日)、福山雅治(6日)、阿久悠(7日)、向井理(7日)、山本寛斎(8日)、佐々木希(8日)、あだち充(9日)、春日俊彰[オードリー](9日)、平塚らいてう(10日)、高橋英樹(10日)、伊能忠敬(11日)、トーマス・エジソン(11日)、山口淑子[李香蘭](12日)、植村直己(12日)、南こうせつ(13日)、有村架純(13日)、岡倉天心(14日)、ヒロシ(14日)



編集BLOG

●月刊シリーズ「新教育課程ライブラリ」(全12巻)については、刊行前からセットご注文を多数いただき、ありがとうございます。第1巻「新教育課程型授業を考える—アクティブ・ラーニングの理論と実践」が今月ついに発刊いたしました。そして、たちまち第1巻の増刷決定! みなさまのご意見・ご感想をお待ち



しております! ●「新教育課程ライブラリ」は6月までセット特価でご案内中です。詳しくは右記Webサイトをご覧ください。●「きょういくプレス」無料メール配信サービスのお申込みも承り中です。上のQRコードから登録サイトへ簡単にアクセスしていただけますので、ぜひお申し込みください。

●ご注文・お問い合わせ先

(株)ぎょうせい

フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Webサイト <http://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者